

平成30年度 宝塚西高等学校 学校評価シート

4段階評価（1=できなかった、2=あまりできなかった、3=できた、4=よくできた）

（平成31年2月実施）

領域	評価の観点	評価項目	担当分掌	実践目標	1	2	3	4	平均	
学校運営	開かれた学校づくり	PTA・同窓会との連携	総務	PTA・同窓会との意見交換を行ない、学校運営や行事に活かしていく。	2.1%	4.3%	66.0%	27.7%	3.19	
		学校評議員制度等を活用した学校運営の推進	管理職	学校評議員会において、各委員から出された意見を吟味し、学校運営に反映させる。	2.1%	10.6%	68.1%	19.1%	3.04	
		地域への貢献活動	総務他	高校生ふるさと貢献活動事業を活用し、学校周辺の美化活動や近隣の幼稚園、高齢者養護施設と交流を行う。	0.0%	6.4%	61.7%	31.9%	3.26	
		家庭や地域への情報発信	広報	広報委員会と各部が連携して、より本校の魅力を伝えられる広報の在り方を工夫する。	2.1%	4.3%	51.1%	42.6%	3.34	
	特色事業推進		インスパイア・ハイスクール事業を活用し、本校の特色である国際理解教育を中心とした学習発表会を実施する。	2.1%	4.3%	63.8%	29.8%	3.21		
	学校の特色化	将来に向けた本校の在り方の検討	将来構想委員会	5年後、10年後を見据えた本校の在り方を考え、その方向性を検討する。	6.4%	17.0%	55.3%	21.3%	2.91	
	生徒指導	生徒指導方針の確認と指導体制の推進	生徒指導	基本的な生活習慣や態度を身につけさせるため、全教職員の一致した指導体制を確立する。	12.8%	12.8%	61.7%	12.8%	2.74	
		いじめの防止	生徒指導	いじめ防止のための基本的方針を見直し、いじめの予防、早期発見、適切な対応をより一層充実させる。	2.1%	6.4%	61.7%	29.8%	3.19	
		生徒の内面理解	保健	年間20数回の教育相談を有効に活用するとともに各学年と連携を密にし、生徒の内面理解に努め、学校生活に適応できるようにする。	2.1%	2.1%	53.2%	42.6%	3.36	
		生徒の自主・自律の精神を育む指導の工夫	生徒指導	生徒による主体的な活動を積極的に支援し、生徒会活動を活性化する。	4.3%	4.3%	68.1%	23.4%	3.11	
			生徒指導	職員の共通理解のもと、部活動に関する様々な規程の徹底を図るとともに内容の見直しを行い、学習と部活動の両立を図る。	8.5%	12.8%	68.1%	10.6%	2.81	
	進路指導	進路行事の充実	進路	生徒向け国公立大学説明会の拡充や国公立大学バスツアー、保護者向け大学説明会、インターンシップなど進路行事を充実させ、進路に対する意欲を高める。	0.0%	4.3%	59.6%	36.2%	3.32	
		補習の充実	進路	早朝補習の定着をはかるための条件整備を行う。また、冬休み・春休みの補習を組織的かつ体系的に実施する。	0.0%	4.3%	57.4%	38.3%	3.34	
	教職員の資質向上	計画性を持った研修の実施	教務	進路・国際・保健・人権等、様々な課題について校内研修を計画的に実施する。	0.0%	6.4%	72.3%	21.3%	3.15	
	危機管理体制の整備	防災訓練の充実	総務	本校の実態に沿ってマニュアルを見直し、実効性のある防災訓練を定期的に行う。	4.3%	10.6%	55.3%	29.8%	3.11	
		生徒に対する防犯教育の充実	生徒指導	インターネットやスマホの正しい使い方を学ぶ。また、薬物乱用に関する啓蒙活動を行う。	8.5%	17.0%	57.4%	17.0%	2.83	
	業務の効率化	校務支援システムの導入と運用	教務	県立学校校務支援システムを円滑に運用する。	0.0%	19.1%	59.6%	21.3%	3.02	
		会議の効率化	総務	資料のペーパーレス化やグループウェアの掲示板による連絡等の工夫により、職務の効率化、省資源化に取り組む。	2.1%	14.9%	57.4%	25.5%	3.06	
	教育課程・学習指導	自ら学び自ら考える力の育成	体験的・問題解決的な学習の展開	学力向上	「基礎的・基本的な知識の基盤に立った、思考力・判断力・表現力などの能力」を向上させるための授業の在り方を研究し、実践していく。	4.3%	8.5%	63.8%	23.4%	3.06
			主体的・対話的で深い学びに向けて	教務・将来構想	次期学習指導要領や大学入学共通テスト(仮称)などの情報収集を行う。	8.5%	42.6%	44.7%	4.3%	2.45
基礎・基本の定着		家庭学習の充実	学力向上	考查の結果や学習記録の振り返りを通じて、生徒の学習意欲を向上させ、家庭学習に主体的に取り組ませる。	8.5%	29.8%	53.2%	8.5%	2.62	
		生徒の学力の把握	進路	西高学習プランを進路通信等を通じて生徒に提示し、学習意欲を喚起する。模擬試験の結果分析資料を充実させ、学年・教科への喚起を促す。	2.1%	17.0%	63.8%	17.0%	2.96	
個に応じた学習指導の徹底		評価方法の創意工夫	教務	評価方法について学校全体で検討し、観点別評価など多様な評価資料の活用を研究する。	8.5%	21.3%	66.0%	4.3%	2.66	
		指導形態の工夫	教務	少人数クラス・習熟度別クラスなどの実効性のある指導方法を工夫する。	4.3%	12.8%	68.1%	14.9%	2.94	
総合的な学習の時間		創意工夫を生かした実践の展開	総合	スピーチ、レポート、学年全体での発表等を通じて、コミュニケーション能力の向上を図る。	2.1%	17.0%	53.2%	27.7%	3.06	
特別活動		学校行事の精選と行事内容の充実	総務	学校行事検討委員会を開き、海外修学(研修)旅行等の検討や行事内容の充実を図る。	2.1%	17.0%	63.8%	17.0%	2.96	
芸術文化活動		読書活動の活性化	図書	書籍、雑誌の充実を図るとともに「図書たより」等によって、新刊本の紹介などの情報提供を定期的に行い、読書への関心を高める。	0.0%	6.4%	74.5%	19.1%	3.13	
		教育活動全体における計画的な芸術文化活動の実施	図書	レベルの高い芸術鑑賞を行ない、生徒の芸術的な感性を高める。	0.0%	4.3%	78.7%	17.0%	3.13	
課題教育	人権教育	確かな人権意識の育成	人権	人権HRの具体的な内容について、各学年との連携を図り、3年間の授業を系統立てて内容の充実を図る。	2.1%	12.8%	66.0%	19.1%	3.02	
	国際理解教育	留学事業の推進	特色事業推進	MGHS、COLIBLIを軸に、国際交流プログラムを充実・発展させる。	10.6%	25.5%	53.2%	10.6%	2.64	
		国際的な視野の育成	特色事業推進	国際理解に関する講演会、LAC講座等を通じて、生徒の国際理解を深めさせる。	0.0%	12.8%	68.1%	19.1%	3.06	
		地域の英語教育への貢献	特色事業推進	英語教育における小中高の連携を図り、地域連携重点校としての役割を果たす。	4.3%	8.5%	59.6%	27.7%	3.11	